

# 望遠鏡勉強会、サロンでの話し合い記録

## (+山田明さんとの打ち合わせ)

### 2008年5月17日・31日

記録：角田

#### ・オススメの望遠鏡は

何を見たいのか、天体によって変わる。月の全体像・星雲・星団・彗星（すいせい）だと双眼鏡の方がオススメか。ただし、やたら高倍率のもの（20倍以上）やズーム機能がついたものは避けた方がよい。三脚に取り付けることができるタイプが天体観察には向いている。（双眼鏡の場合、口径10cm・倍率7倍くらいが天体向きか）

惑星や二重星などになると、やはり望遠鏡か。初心者にお勧めなのは、屈折式+経緯台かもしれない。少人数で肉眼で観察するだけなら、このあたりが良いのではないか。初めはモータードライブはなくても良いのでは。

講座の中では特に「これ」とは指定しないが、参考までにアストロアーツのホームページ（オンラインショップ）などを見てみると…

・ビクセン ポルタシリーズ（フリーストップ経緯台）  
ポルタ A80M（屈折8cm, 経緯台） 57,120円  
ポルタ A70Lf（屈折7cm, 経緯台） 29,400円

・トミーテック BORGシリーズ（フリーストップ経緯台、ターレット接眼部）  
BORG77SWII セット DX（屈折7.7cm, 経緯台） 67,800円

ちなみに、ビクセンの赤道儀では…

・ビクセン GP2シリーズ  
GP2-A80M（屈折8cm, 赤道儀） 96,100円  
GP2-R150S(N)（反射15cm, 赤道儀） 132,300円

とうわけで、経緯台だと概ね5万円以上。赤道儀だと10万円以上はする。

#### ・望遠鏡を購入する上での注意事項

重さ…持ち運びできる重さか。ここをよく考えておかないとタンスの肥やしに…。  
特に女性や子ども。  
倍率…倍率に惑わされないこと。特に高倍率（300倍とか500倍）をうたっているものは怪しい。倍率が高くなると視野が狭くなり、暗くなる。

三脚…できるだけ、脚はしっかりしたものが良い。

カタログ・セレクトなどで掲載されている望遠鏡（5000円相当？）はやめた方がよい。

安価なものは作りが稚出で、ガタつきが多く、レンズも高倍率に適さないものが多い。

できれば、しっかりと対応してくれる店員がいる店で買うのが望ましいが、福岡では難しい。九州内であれば、トミタさん（長崎・ユリックスの望遠鏡のメンテナンスを依頼している。）ぐらいか。ある程度の知識があり、インターネットなどで事前に十分調べているのであれば、ヨドバシカメラ（博多）でもビクセンの望遠鏡ならば購入することはできる。

昔は近所の眼鏡屋さんのショーウィンドウで見かけたものだが、最近では見ない。

- ・ちなみに、ユリックスの望遠鏡の値段は

・ビクセン 屈折 8cm	10万円+モータードライブ他
・ビクセン 反射 10cm	10万円+モータードライブ他
・ミード シュミット・カセグレン 28cm	40~50万円
・ミード シュミットカセグレン 30cm	60~70万円
・タカハシ 屈折 10cm	60万円

- ・保管について

- ・高温多湿を避ける
- ・乱暴に扱わない
- ・湿気に気をつける（シリカゲルで除湿）
- ・レンズはなるべく自分で拭かない

- ・講座で行う内容（その他）

- ・組み立ての手順

三脚の設置 → （赤道儀の場合は方角を合わせる） → 架台の取り付け  
→ （赤道儀の場合はウェイトの取り付け） → 望遠鏡の取り付け  
→ （赤道儀の場合はバランスをとる） → 望遠鏡のフタをとる  
→ アイピースの取り付け など

- ・導入の手順

ファインダー → 低倍率 → 中倍率 → 高倍率 など

- ・月齢や惑星の位置などの情報はどこで入手するのか

雑誌やインターネットで入手できる。

- ・雑誌（ニュートン、天文ガイド、星ナビ、子供の科学など）

- ・インターネット（アストロアーツ、天文ガイド、国立天文台）
- ・募集時にうかがう事項
  - ・氏名
  - ・参加人数
  - ・住所
  - ・電話番号
  - ・メーカー名
  - ・型番
  - ・屈折式か反射式か
  - ・架台は経緯台か赤道儀か
  - ・組み立てことがあるか  
(実際に使ってみたことがあるか、どこで挫折したのか)
  - ・部品はそろっているか
  - ・誰が使えるようになりたいか
  - ・今まで使っていなかった理由  
(どのくらい使ったか、何を見たか、何をみたいかなど)
  - ・その他、質問などあれば聞いておく
- ・その他

最初に30～45分程度講座（説明）を行う。その後1時間くらい屋内で、各々にマンツーマンで組み立て方を練習していく。20時くらいから屋外で月を観察する予定。雨天・曇天時の場合はプラネタリウムのドームでファインダーの使い方くらいはできるのではなかろうか。

望遠鏡を持っていない方には、ユリックスのビクセン8cm屈折・10cm反射を使って組み立て方などを実際に行ってもらう。

募集は、望遠鏡を持っている方・持っていない方それぞれ5組ずつ、計10組。先着順で受け付ける。

- ・山田明さんとの打ち合わせより

最初の講座の部分（望遠鏡の仕組みなど）は山田明さんに行っていただくが、量が多いので後半（月齢や惑星の位置の情報の見つけ方などの「お役立ち情報」のあたり）から別の方に説明していただけたら…。

説明の後に、質問を受ける時間を5～10分ほど設けたい。しっかりと対応したいので、その場で分からぬ質問は後日郵送やメールで回答してあげたい。また、アンケートを用意しておいて、講座についてや質問・疑問を記入してもらいたい。アンケートはメールでも受け付けるようにしておけば、うちに帰ってからゆっくりと回答していただいても良いかも。

屋外では時間があれば、月の他にも惑星（土星）や明るい恒星（おとめ座のスピカ）もチャレンジしてみたい。明るい恒星を入れることができるようになれば、今後惑星などにもチャレンジしやすいのではないか。

- ・アンケートの項目案

- ・説明は分かりやすかったか
- ・望遠鏡の仕組みは分かったか
- ・望遠鏡の組み立て方は分かったか
- ・今後、望遠鏡を使つていいと思ったか
- ・質問や疑問があれば
- ・住所・氏名・メールアドレス（質問があるなら…）

- ・準備しておきたいもの

- ・バッテリー（念のため、灯りとして使えるし）
- ・ペンライト（人数分あるといいかも。最低1組に1つは）
- ・方位磁石（参加組分）
- ・サーチライト（星の案内用として）
- ・プロアやレンズクリーナーなどのメンテナンスキット（一応…）
- ・MYP望遠鏡の接眼レンズ（貸出用として。念のため…）
- ・台車（望遠鏡移動のため）